

あらい一徳の議会活動の成果 平成31年度の主な事業

私が2期目(平成27年度～)の任期中、一般質問や予算特別委員会での質疑などで提案・提言したことにより、平成31年度に実現することが決まった主な事業をご紹介します。

県民向け

問合せAIの構築

人工知能(AI)を活用して、県民からの問い合わせに24時間365日対応する窓口を開設します。県民がパソコンやスマートフォンなどからアクセスし、AIが対話形式で、適切な回答をします。問い合わせ件数の多いものから導入を図ります。



災害対策アプリの提供

危機管理防災部が発行している冊子「ITツモ防災」をスマートフォンアプリとして県民に提供します。災害発生時に、県民に確実に情報を伝達するプッシュ通知や避難場所の家族間での共有など、アプリならではの機能を活用し、効果的な情報提供を行います。併せて、これまで3編を発行している「ITツモ防災」の第4編として「自宅サバイバル編」を編集します。自宅に備えるべき物品や、その用途などを詳しく紹介します。

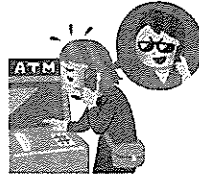


私学に通う家庭の負担軽減

平成30年度に引き続き、県内の私立高校に通う生徒がいて、年収が600万円未満の世帯を対象に、授業料の補助を行い、実質無償化します。また、私立高校や大学に通う生徒・学生が3人以上いて、年収が200万円未満の世帯についても、引き続き、実質無償化を図ります。さらに、ICT教育環境の整備を促進するため、私立高校等に対する補助を新設します。

振り込め詐欺被害の防止

多発する振り込め詐欺被害を防止するため、被害防止に有効な自動警告付き通話録音装置などの対策機器や在宅時における留守番電話設定の有効性や必要性を実感することができるよう、操作の体験などを伴ったワークショップ型の啓発活動を実施します。



医師確保対策の推進

医師不足や診療科、診療地域の偏在を解消するため、最先端の知識・技術を習得できる留学支援制度の創設や、外部機関による臨床研修プログラム評価制度の県内臨床研修病院への導入促進を図り、研修医などの若手医師にとって魅力的な「埼玉ブランド」を構築し、医師の確保・定着や質の高い医師の育成を図ります。



埼玉農業の担い手育成

埼玉農業の将来に向けた担い手

県立病院の診療体制の強化

熊谷市の循環器・呼吸器病センターに「脳神経センター」を設置し、脳卒中の脳血管内治療を提供する体制を整備します。



子どもの居場所づくりと貧困の連鎖解消

地域において子どもを健やかに成長を支援する子ども食堂などの子ども居場所を推進し、現在ある164か所を800か所まで増やします。そのため、居場所の立ち上げや運営

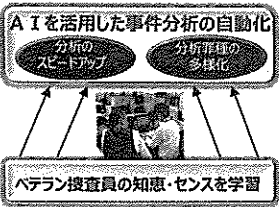


児童虐待防止対策の充実

児童虐待の防止に向けて、全国初の取り組みとして、児童相談所と警察署との間で情報をリアルタイムで共有するシステムを構築します。また、児童相談所の機能強化として、警察官OB職員や虐待相談対応職員の配置を充実させるほか、市町村における相談体制の強化として、虐待相談の中枢となる市町村職員の養成を進めます。

AI導入による犯罪捜査の効率化

人工知能(AI)を活用して、犯罪捜査の効率化を図ります。犯罪の内容が多様化・複雑化していることを踏まえ、容疑者の早期検挙に向けて、AIを活用した事件分析の自動化による犯罪捜査の効率化を図ります。AI導入により、事件分析のスピードアップが図られるなどのメリットが期待されます。



次のステージに向けて



私は平成23年に、皆様方のご支援により埼玉県議会議員に就任して以来、2期8年間、皆様にお約束をいたしました「安心、安全で豊かな暮らし」を実現するために日々、精力的に現場に赴き、自分の目で確かめ、市民や県民の皆様の生の声に真摯に耳を傾けることで、その声を「政策」という形に結実させるため、県政活動に邁進してきました。その結果、高崎線と東海道本線の相互直通運転や、私学に通う世帯の負担軽減、上尾道路1期区間の開通、国道17号など幹線道路の修繕、赤堀川改修など自然災害に強い県土づくり、小児医療センターの開設をはじめ医療体制の充実などを実現することができました。

今後、初心を忘れることなく、皆様方の生の声に謙虚に耳を傾け、清新な気持ちで清廉な政治活動に励みます。

県議会議員2期8年間で培った国や県、市との太いパイプ、厚い信頼関係が私の政治家としての大きな財産です。こうした財産を生かして、私達が住み、学び、働き、憩う故郷が安心、安全に暮らせる地域となるよう、今後ともその構築に全力を尽くしてまいります。

引き続きのご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

